

特定非営利活動法人
盛岡市水泳協会

令和3年6月1日

■ 理念

盛岡市の水泳界を統括し、水泳及び水泳競技の健全な普及発展に貢献する。

■ 使命

強化;日の丸を胸に 岩手(盛岡)から世界へ!
競技力向上に努め、世界で活躍し市民に勇気と希望を与える。

普及;市民皆泳
市民皆泳の実現と水難事故を防止し、人々の健康を増進し
“生涯スポーツ”としての水泳普及に貢献する。

■ 行動指針

水泳の楽しさと喜びを伝える
水泳を通じた教育と交流の輪を広げる
水泳盛岡の歴史と伝統を明日へつなぐ
地域社会の活性化と雇用を図り明るく豊かな市民生活に寄与する

■ 活動方針 (年間重点目標)

1. 水泳普及・強化及び受託事業の充実
 - (1)学童から選手及び指導者育成の取り組み強化
 - (2)障がい者水泳活動への積極的な協力
 - (3)水泳教室及び学校体育(水泳授業)への指導者派遣
2. 「泳げない子供・大人」を減らす環境整備
 - (1)命を守る防災スポーツとして「泳げない子供・大人」を減らす
 - (2)安全をより重視した学校体育(水泳授業)の充実に努める
3. 組織基盤の強化と信頼を得る組織運営
 - (1)幅広い分野からの有能な人材の登用
 - (2)若手を中心とした人材育成の強化
 - (3)地域内指導者及び市内スイミングクラブとの連携強化
 - (4)地域貢献活動の推進
4. 安全・安心の推進と職場環境改善の徹底
 - (1)水泳教室・指定管理業務等での事故“0”件
 - (2)人権啓発活動とコンプライアンス体制の充実
5. 指定管理業務の円滑な遂行と新たな改革

■ 沿 革

◇盛岡市水泳協会の略歴

(1)盛岡市水泳協会の創設

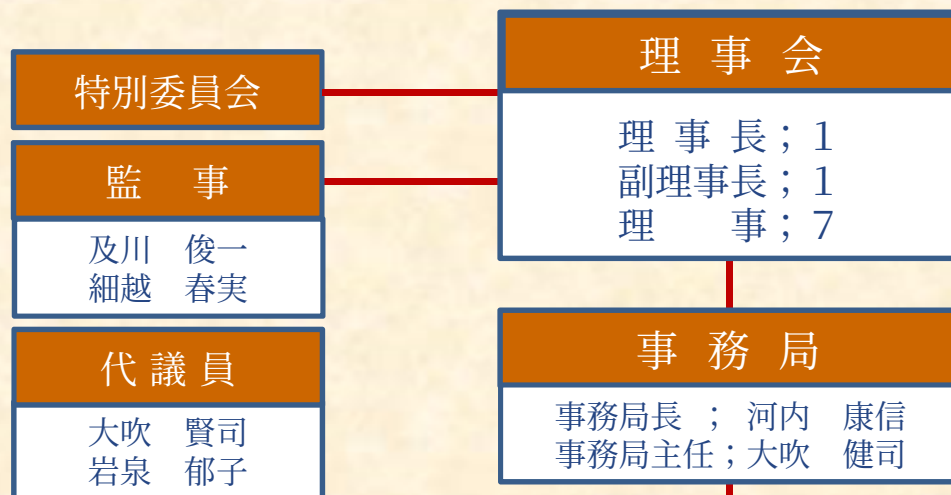
- ・1913年 (大正2年8月22日) ; 第1回盛岡市内水泳大会が開催される。(岩手水泳会が発足)
- ・1925年 (大正14年7月15日) ; 杉土手プール誕生する。(東北地区初のプール)
岩手水泳会が岩手水泳協会に名称変更 → 大日本水上競技連盟に加盟 (現日本水泳連盟)
- ・1962年 (昭和37年9月) ; **盛岡水泳協会結成** → 初代会長に栃内松四郎氏
岩手水泳協会が「岩手県水泳連盟」に改称し県内各地の水泳協会を整備
- ・1964年 (昭和39年8月) ; 盛岡レジャーセンタープール (藤原ハロー所有) 完成 → 盛岡SS開校
- ・1975年 (昭和50年7月) ; 勤労青少年プール完成 → 監視・指導業務委託
- ・1976年 (昭和51年4月) ; 盛岡市屋内プール完成 → 監視・指導業務委託
- ・1982年 (昭和57年11月) ; 創立20周年記念式典実施 → 盛岡グランドホテル
- ・1999年 (平成11年4月) ; 盛岡市立総合プール完成 → 盛岡SS学童、選手育成強化
- ・2004年 (平成16年12月) ; 盛岡水泳協会 → 特定非営利活動法人 盛岡市水泳協会
- ・2009年 (平成21年4月) ; 盛岡市余熱利用健康増進センター「ゆびあす」の指定管理者委託

(2)盛岡市水泳協会の歴代会長

初代 栃内 松四郎 氏 1962年9月～1980年4月
2代 岩根 和夫 氏 1980年4月～2007年6月
3代 小笠原 努 氏 2007年7月～2018年6月
4代 門 口 雄 氏 2018年7月～

2022年 (令和4年9月)
創設60周年 !

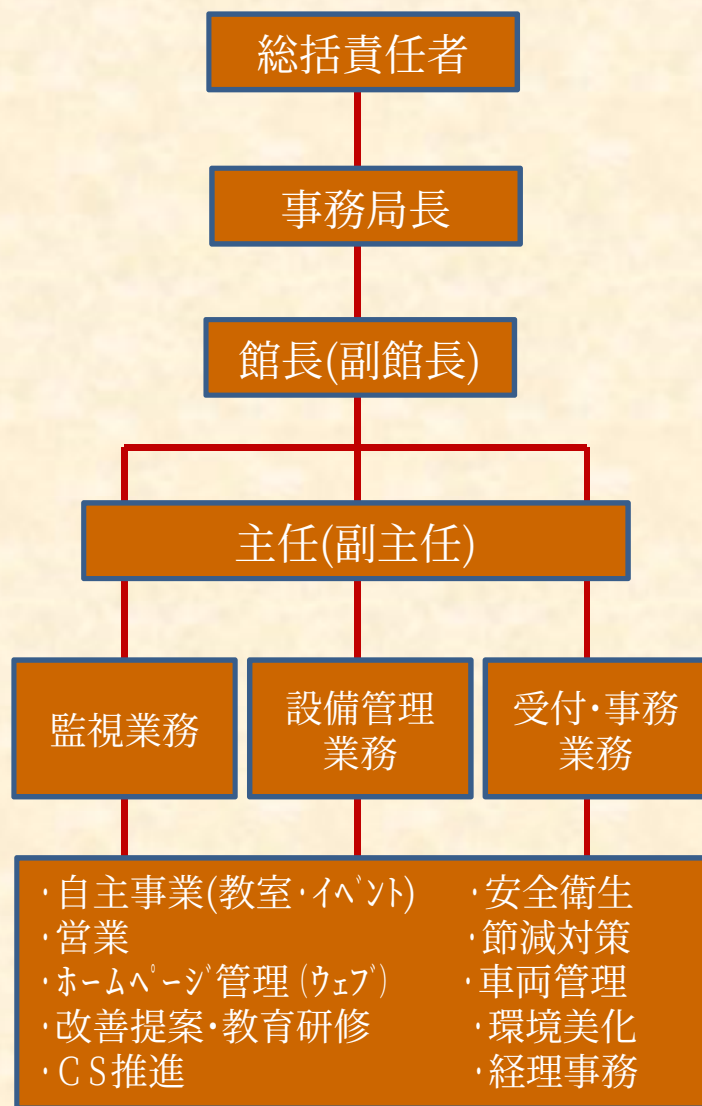
盛岡市水泳協会の組織図



役 職	名 前
理事長	門口 雄
副理事長	河内 康信
理 事	西川 勝夫
理 事	及川 雄輝
理 事	一ノ倉 眞吾
理 事	小島 正弘
理 事	舟山 道夫
理 事	佐々木 克也
理 事	中村 剛

※当面は、事務局長が管理を兼任し必要に応じ担当者に依頼する。

■ 指定管理業務組織図と役割分担



名 前	役 職	担 務 内 容
門口 雄	統括責任者	施設全般、人事、予算執行に関すること
河内 康信	館 長	施設運営、管理に関する全てに統括、コンプライアンス
中村 剛	副館長	館長業務補佐、職員の指導及び監督、営業、個人情報管理
藤澤 眞	主 任	設備管理業務統括、監視業務、車両管理
吉水 宗大	主 任	監視業務統括、自主事業(教室)、業務改善
小國 貴大	主 任	受付業務統括、運営協議会、教育研修、業務改善
岩泉 郁子	副主任	監視業務、CS推進、教育研修
畑中 和之	副主任	監視業務、設備管理、省エネ関連、社有車管理
中居 大治朗	監視員	安全衛生①、ウェブ管理、環境美化
橋場 美幸	監視員	自主事業(イベント)
関 千夏	監視員	自主事業(イベント)
菅原 玲佳	監視員	安全衛生②、営業、環境美化
細工藤 彩季	事務員	自主事業(教室)
安原 真	事務員	自主事業(イベント)
菊池 有美	事務員	経理、物品仕入・販売

※パート職員; 8名(監視6、受付2)

■ 選手の強化と普及・育成の考え方 I



2028	
目 標	①オリンピック出場<1名> ②日本選手権出場<2名>
強化施策 (長期計画)	8年目；オリンピック代表
	8年目；日本選手権出場優勝
	7年目；日本選手権出場入賞
	6年目；日本選手権出場
	5年目；国体、全中、インターハイ、全国J0出場入賞
	4年目；国体、全中、インターハイ、全国J0出場
	3年目；全国J0出場
	3年目；レベルアップ、ターゲット種目の重点強化
	2年目；底辺拡大→レベルアップ、ターゲット種目の重点強化
	1年目；底辺拡大→低学年から素質のある選手を発掘

■ 選手の強化と普及・育成の考え方 II

(1) タレント発掘について

- ①学童コースからの推薦 (1～3年がターゲット)
- ②個人指導者等からの情報収集
- ③広告募集等

(2) 指導方法の検証と見直し及び統一化

- ①学童等初期においての基本指導の統一
・指導マニュアルを作成し統一化を図る
- ②個人指導者等との情報共有化を図る
・盛岡地区水泳指導者連絡会の開催(仮名)
- ③コーチ研修会の開催
・指導方法等の情報を共有

ゆぴあす自主事業 指導体制			
水泳教室 (成人・小学生・幼児) アクア (ウォーキング・エクササイズ)	中村 剛	吉水 宗大	
	岩泉 郁子	中居大治朗	橋場 美幸
	畑中 和之	菅原 玲佳	外部委託者
707教室 (外部委託者)	エアロビクス・ダンスエアロ・太極拳 ストレッチング・ヨガ・キッズダンス シェイプアップボクシング・ピラティス カラダメンテナンス入門 身体も心もリフレッシュ よくばり健康塾		

強化選手 指導体制			
選手A	中村 剛		
選手B	大吹 賢司		
選手C	小笠原大輔		
育 成	吉水 宗大	高橋 麻美	
ミドルマスター	高橋 麻美		
Jrマスター	小笠原大輔	大吹 賢司	岩泉 郁子
	山本 潔	高橋 麻美	
アーティストックS	遠藤 悠子	伊藤 想蘭	藤田 朝子
飛込み	駒谷 善吾	中村あゆみ	

学童教室 指導体制		
大吹 賢司		
小笠原大輔	遠藤 悠子	高橋 晴美
山本 潔	高橋 麻美	武田智恵美
岩泉 郁子	河田 道代	大高るり子
畑中 和之	菅原 玲佳	伊藤 想蘭

■ 財務状況

(単位;万円)

項 目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
協会事業	収入	2, 888	2, 707	2, 685	1, 416
	支出	2, 632	2, 589	2, 607	1, 444
	差額	256	118	78	△28
指定管理事業	収入	17, 587	17, 862	17, 462	16, 158
	支出	17, 499	17, 836	17, 470	15, 872
	差額	88	26	△8	286

日の丸を胸に
岩手から世界へ！

完

チーム モリスイ